

経営比較分析表（令和4年度決算）

福井県 越前町

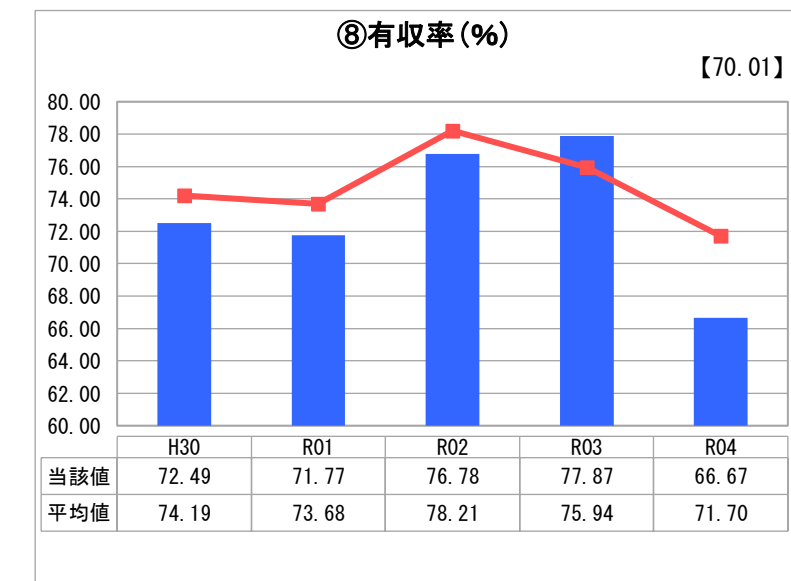
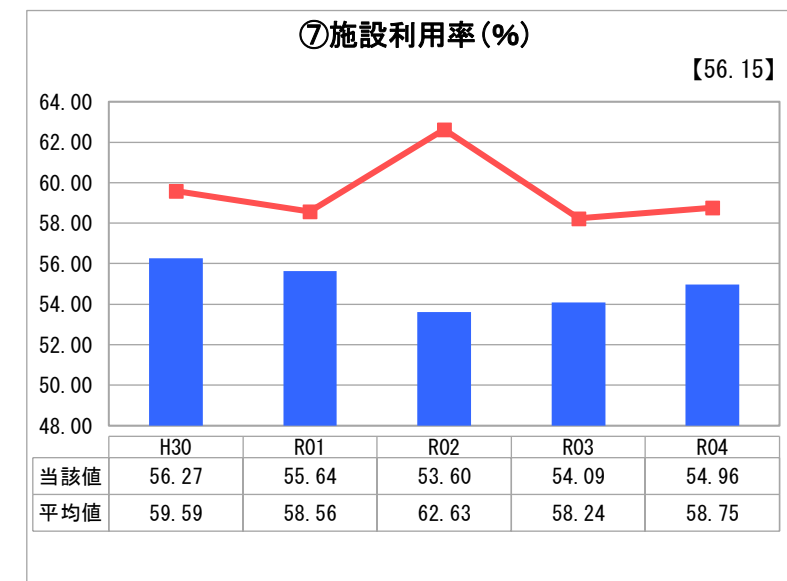
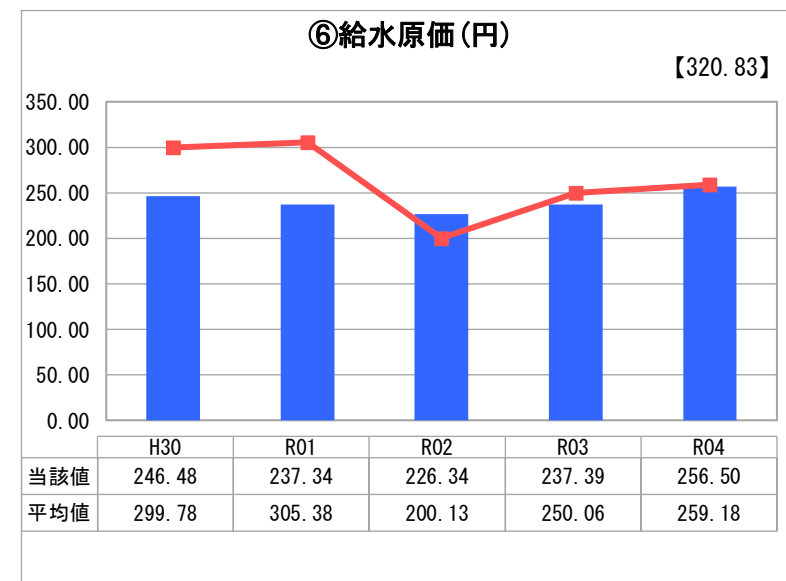
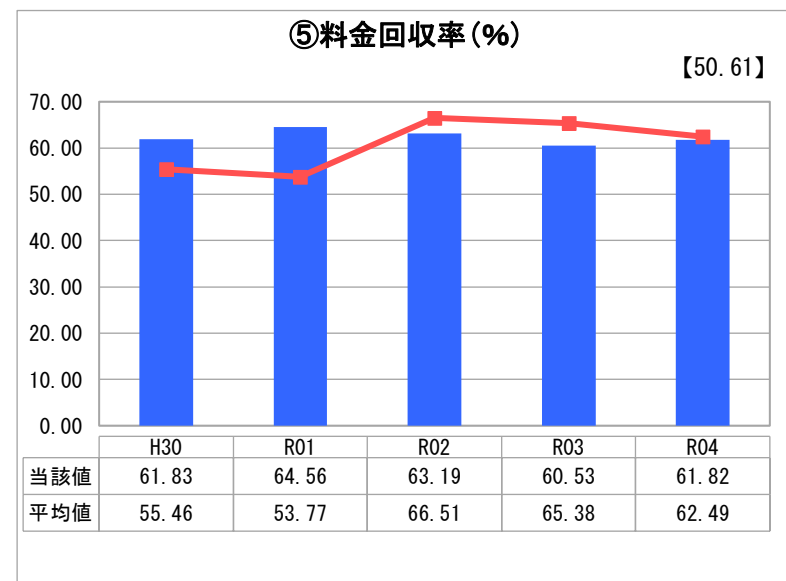
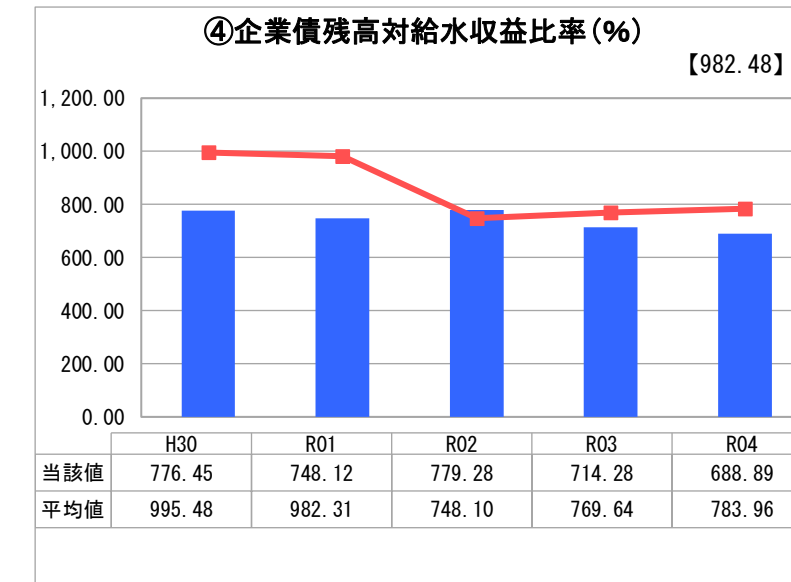
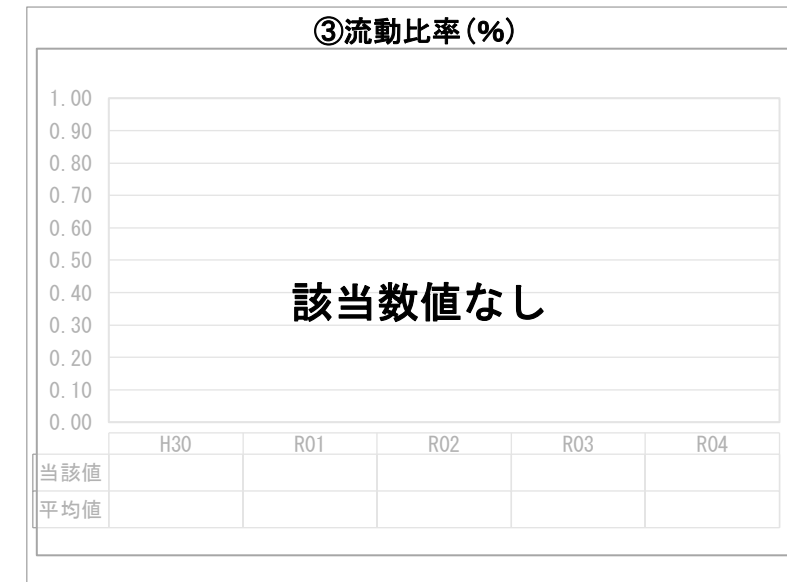
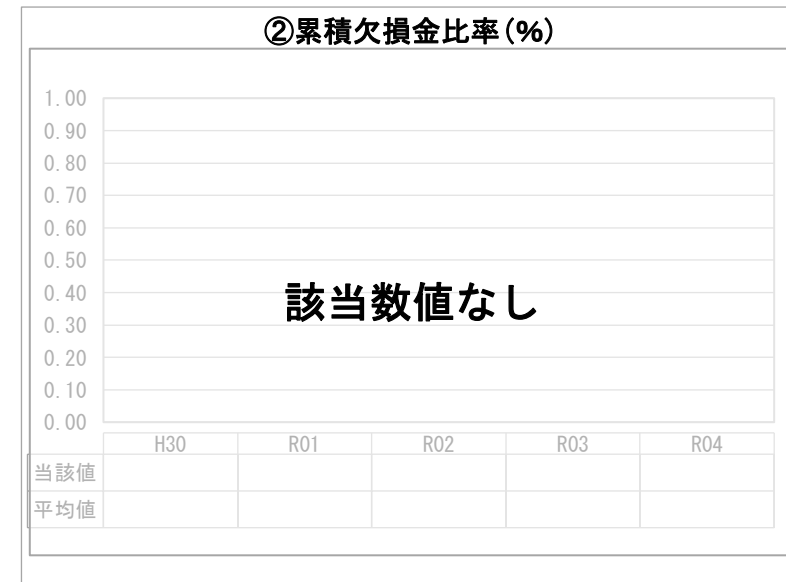
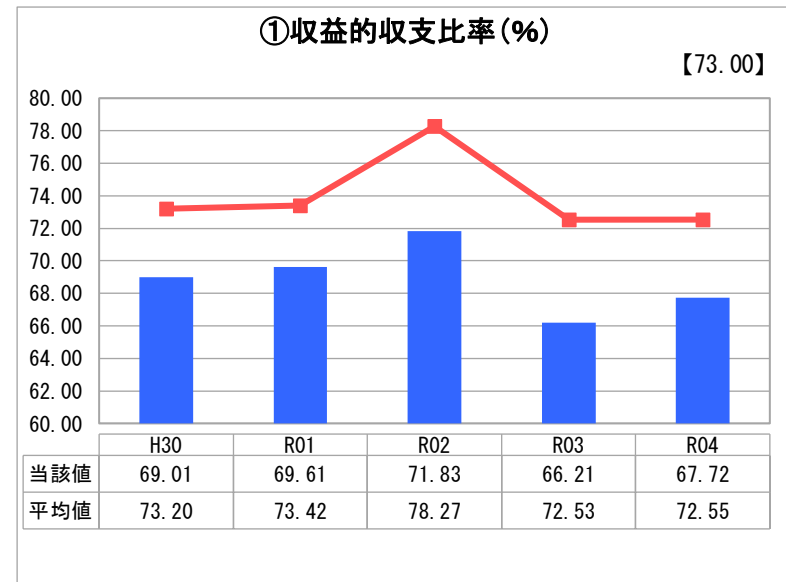
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	51.93	2,860	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,394	153.15	133.16
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,504	7.90	1,329.62

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、地方債元利償還金の財源を一般会計負担金に依存しており、令和4年度は67%と類似団体平均より5%下回っており、⑤料金回収率についても令和2年度より類似団体と平均値を下回っている。

また、④企業債残高対給水収益比率から見ると、当町の簡易水道区域に関する施設整備が早かったことや、区域の一部を平成23年に上水道事業区域へ編入したことで、企業債の残高が減少している。しかし、必要な更新については、継続的に実施していく必要がある。

⑥給水原価については、令和3年度より類似団体平均を下回っている。しかし、給水原価自体は、前年度を上回っており、施設の老朽化は加速しつつあることから、引き続き適切な更新を実施していく必要がある。

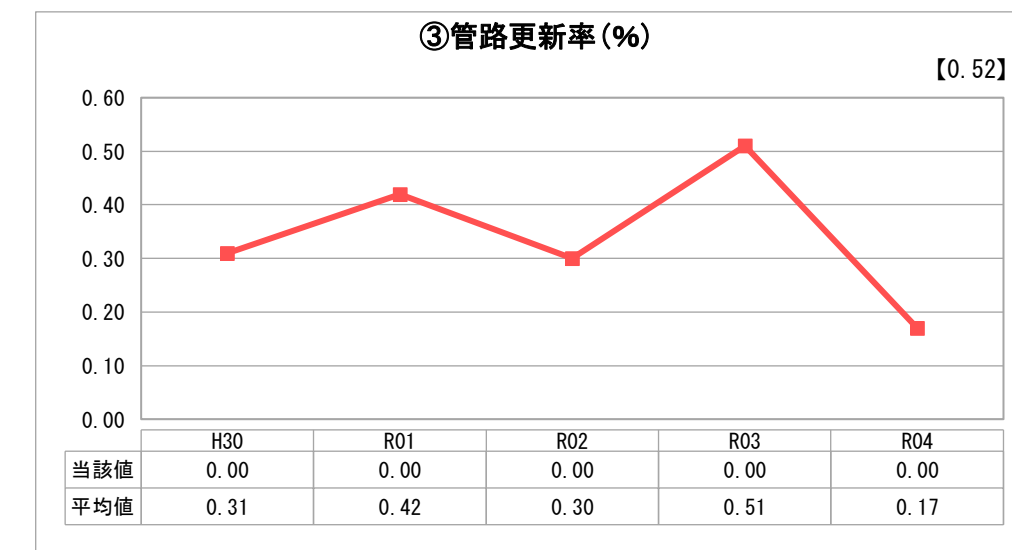
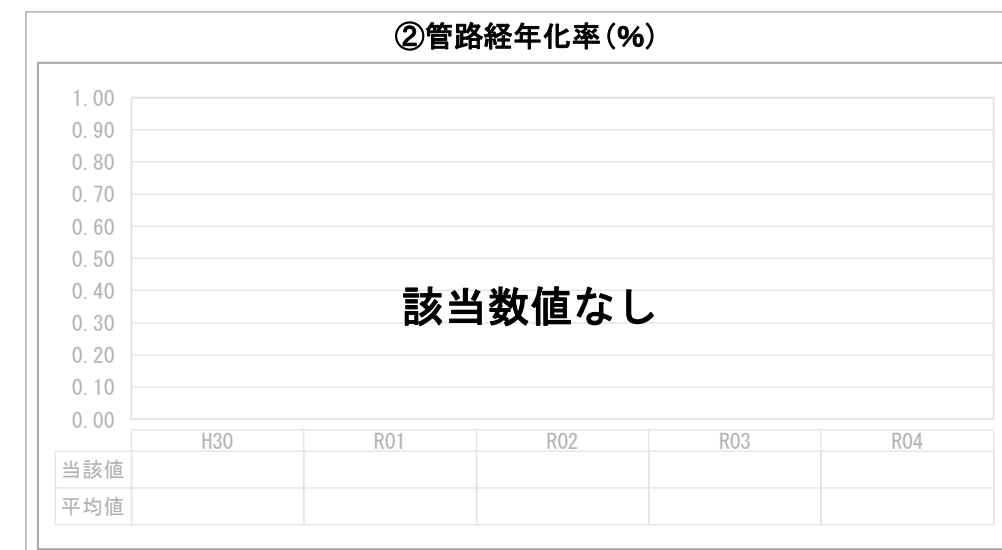
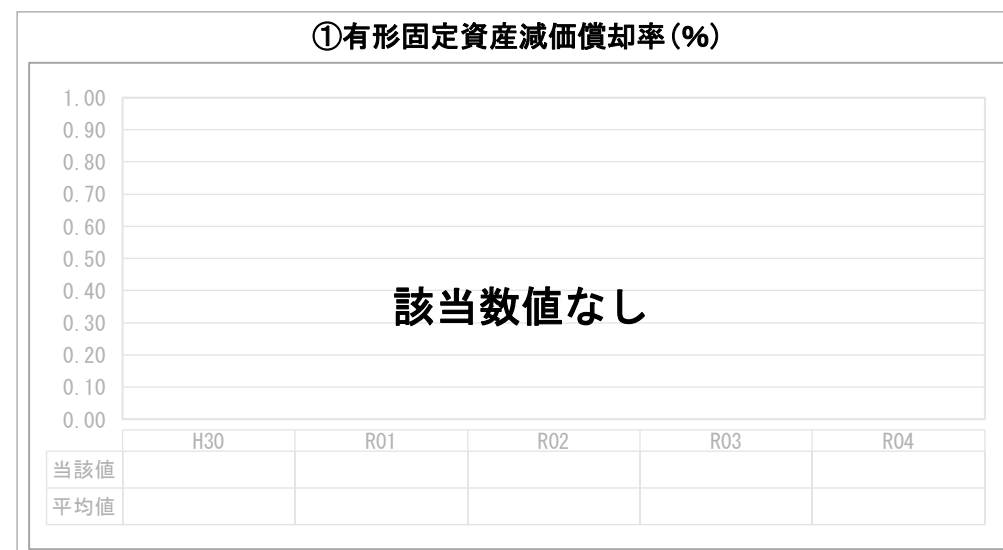
⑦施設利用率については、令和2年度に類似団体の平均を大きく下回っていたが、令和3年度より、上昇している。施設の更新を図り、効率性を改善する必要がある。

⑧有収率から見ると、令和3年度と比較して減少したが、類似団体平均よりも5%上回った。今後も漏水調査結果に基づき管路修繕を実施していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

当町では、③管路更新率から見ると、類似団体平均を大きく下回り、過去5年間では、平成28年のみの更新となっている。平成17年の町村合併から、16年が経過しているが、旧4町村の老朽化した施設が多く実在しており、管路についても、布設年度すら完全には把握できない状態である。また、⑧有収率は令和2年度より上昇しているが、今後も漏水調査結果に基づき管路修繕を実施していく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

当町の給水率は99%を超えているが、平成17年町村合併から16年が経過した現在、施設の老朽化や人口の減少等を踏まえ、自主財源の確保や効率の良い事業運営が必要とされている。

令和5年度に策定する水道事業ビジョンに基づき事業区域の再編、老朽化する施設・管路の計画的な更新耐震化及び妥当な料金体系の検討を実施していく必要がある。

また、健全な水道事業の継続のため、令和6年度から公営企業会計へ移行予定である。